

第10回

秋季研究集会

2017年 11月19日(日) 10:35~17:25

於：東京 印刷博物館

FALL SEMINAR OF **JADS**
JAPAN ART DOCUMENTATION SOCIETY
アート・ドキュメンテーション学会

第10回秋季研究集会は11月19日(日)に印刷博物館で開催します。奮ってご参加ください。

開催日：2017年11月19日(日) 開場 10:20頃 開会 10:35 閉会 17:25

会場：印刷博物館 地下1階グーテンベルクルーム 東京都文京区水道1丁目3-3 飯田橋駅より13分

申込フォーム：<https://goo.gl/pW1eBS> (定員80名)

参加費(資料代・展示観覧料含む)：会員：1,500円 非会員：2,000円

懇親会：金のオリーブ(KUON)にて開催。飯田橋駅より1分 一般：5,000円 学生：4,500円

お問い合わせ先：JADS 行事・企画委員会 jadsevent@gmail.com

10:40-12:15 第一部 企画セッション 「音楽学における研究図書館とアーカイヴ」

[招待講演] ■林淑姫 (旧日本近代音楽館主任司書・事務局長)

音楽資料と図書館、アーカイヴ、ドキュメンテーション

■平野 昭 (静岡文化芸術大学名誉教授・元 慶應義塾大学文学部教授)

メディアとしての編曲版と作品としての編曲版：ベートーヴェン音楽を例として

[パネルディスカッション] 林淑姫 平野 昭 司会：前田 富士男

13:15-14:05 第二部 印刷博物館レクチャー・企画展示見学

[レクチャー・企画展示見学] キンダーブックの90年一童画と童謡でたどる子どもたちの世界

14:15-17:20 第三部 一般セッション ※要旨はJADSサイトをご覧ください。

■和久井 遥 (東京国立博物館学芸企画部博物館情報課情報管理室アソシエイトフェロー)

散発的にデジタル化したデータの管理手法について

■竹内 俊貴 (九州国立博物館学芸部文化財課アソシエイトフェロー)

文化財情報システムを活用したウェブサイトでの情報公開と課題

■齋藤 歩 (学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻博士後期課程)

建築レコートと著作権法：日本における権利制限に着目して

■寺師 太郎 (凸版印刷株式会社文化事業推進本部技術開発部)

デジタル画像のリファレンスについて

■金子 貴昭、山路 正憲 (立命館大学アート・リサーチセンター)

テキストアノテーションシステムによる歴史資料(文献)の有機的活用-江戸期出版記録を事例として

■赤間 亮 (立命館大学アート・リサーチセンター)

Keyes, P.Morse 編「北斎版画作品カタログレゾネ」WEB公開システムと前提環境

企画セッション「音楽学における研究図書館とアーカイヴ」

図書館は、わが国では一般に総合図書館を意味する。しかし、ヨーロッパの図書館はむしろ、さまざまな主題領域に即した研究図書室(research library, Forschungsbibliothek)から成立したと考えるべきだろう。古くからの医学ほか自然科学系の研究図書室、法学図書室、あるいは神学を主題とする修道院図書室をあげるまでもなく、とりわけ19世紀以降は、芸術を対象とする研究図書室＝研究アーカイヴが成立する。周知のザルツブルクの「モーツァルテウム」(1841年)の図書室はそのひとつである。

こうした研究図書室＝研究アーカイヴでは、いわゆる公文書を選別・登録し運用する公文書アーカイヴとは異なり、作品の成立や受容に関する多様な資料群を文献学ほかの史料批判にもとづいて整理・究明してゆく。とくに音楽領域では、楽譜の校訂をはじめ、演奏史、楽器研究、批評史などの研究も展開する。なぜなら、図書としての文学作品や実在物としての美術作品と異なり、そもそも音楽作品とは、そのつど演奏の場に生起するひとつの出来事であり、解釈だからである。

このセッションでは、音楽史・音楽学の専門家を迎えて、音楽作品をめぐる豊かな研究の現場としての図書館／アーカイヴのありようを考えてみたい。

前田 富士男(アート・ドキュメンテーション学会会長)

[招待講演]

林淑姫 (旧日本近代音楽館主任司書・事務局長)

音楽資料と図書館、アーカイヴ、ドキュメンテーション

平野 昭 (静岡文化芸術大学名誉教授・元慶應義塾大学文学部教授)

メディアとしての編曲版と作品としての編曲版:ベートーヴェン音楽を例として

[パネルディスカッション]

林淑姫 平野 昭 司会: 前田 富士男

Beethovenhaus/Archiv ドイツ・ボン ▶

<https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Beethoven-Haus.jpg>



印刷博物館 レクチャー・企画展示

[レクチャー] 印刷博物館学芸員によるレクチャー

[企画展示] キンダーブックの90年 -童画と童謡でたどる子どもたちの世界-

幼稚園や保育園で、子どもたちに読まれている『キンダーブック』は1927(昭和2)年11月に『観察絵本キンダーブック』として誕生し、2017年で創刊90年を迎えます。キンダーブックは園に直接配本される月刊保育絵本の先駆けであり、時代ごとの幼児教育と密接に関わってきました。長きにわたり発行されてきた本誌をふり返ると、背景となるその時々の人々の生活や、作り手から子どもたちへの思いが今も生き生きと伝わってきます。

また、印刷技術の進歩と共に、創刊号から続く絵に写真が加わり、さらに写真とイラストの組み合わせなど、その表現も大きく変化してきました。魅力的な誌面を作るための工夫や、編集者、画家や作家の思いなども紹介します。

この記念の年に、約300点の資料を通じて、知られざる『キンダーブック』の世界をひも解いていきます。